

「丹羽誠次郎」展

■「丹羽誠次郎」展について

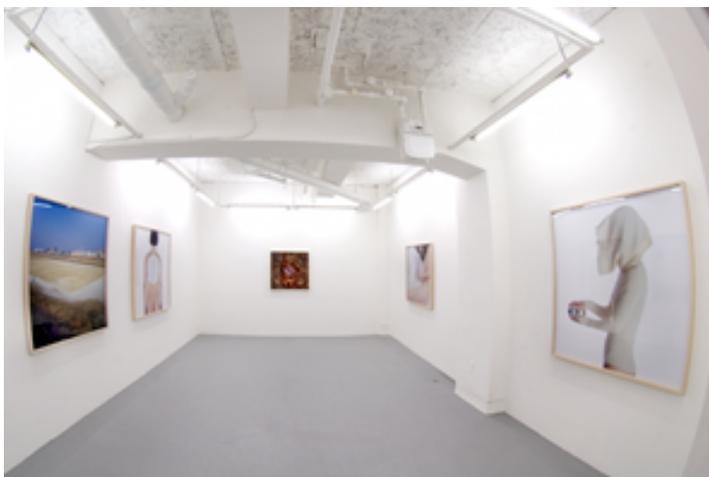
プロジェクトギャラリー「clas」の第6回の企画として、名古屋大学の芸術系科目「芸術と人間」を担当している丹羽誠次郎（にわせいじろう）氏の個展を開催します。丹羽氏は1967年に名古屋市で生まれ、愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了、現在は愛知学泉大学家政学部准教授を務めています。

丹羽氏は在学中より一貫して、絵画の限界部分と人間の視野の端をテーマとした、写真および立体作品を制作しています。名古屋大学でも、2004年に社会連携推進室などの主催によって豊田講堂でおこなわれた「COLD_SCHOOL MS004:講義としての芸術」では、《教室》と題されたインスタレーション作品を発表しました。

今回はこれまでに制作された写真作品と立体作品に加え、新作を展示予定です。ご来場、ご高覧いただくよう、お待ちしております。

■丹羽誠次郎氏のこれまでのおもな展覧会

- 1997 眼差しのゆくえー現代美術のポジション1997ー（名古屋市美術館）
- 1997 Ji Ku Space-Time（Asian Centre Auditorium U.B.C. Vancouver）
- 1999 Katy Lied（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）
- 2001 Coney Island（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）
- 2003 暗渠ーインドの建築家ー（mixed media／静岡）
- 2003 a bath on a boat on a pond（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）
- 2004 COLD_SCHOOL MS004:講義としての芸術（豊田講堂／名古屋大学）
- 2005 Franny（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）
- 2005 EXPRESS（上海多倫現代美術館）
- 2007 aftermath（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）



左：「aftermath」展（ウエストベスギャラリーコヅカ／名古屋）での展示風景 写真：青木孝夫

右：丹羽誠次郎《Franny -ground-》c-print, 800x800mm, 2005-2007 photographer: Aoki takao

「丹羽誠次郎」展

■ 展覧会概要

会期：2007年11月5日（月）-16日（金）（10・11日は休み）

開場時間：10:00-18:00

会場：名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

主催：名古屋大学現代芸術研究会

共催：名古屋大学教養教育院

入場料：無料

協力：青木孝夫

コーディネート：馬場暁子 DMデザイン：森まき恵

■ 交通案内

名古屋大学教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」

464-8601名古屋千種区不老町 名古屋大学全学教育棟南棟1階

地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車1番出口より西へ5分、全学教育棟南入口横

お車の場合は17時まで南門より、用件を伝え100円でカードを購入し入校ください



■ 「clas」について <http://www.vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp/clas/>

名古屋大学教養教育院は、名古屋大学の授業、および学生・教職員、OBOGらの教育と研究、社会的活動にかかわる展示・セミナー・プレゼンテーション・ミーティング等の空間として、全学教育棟にプロジェクトギャラリー「clas」を開設しました。

「clas(クラス)」は「cell for liberal arts & sciences (教養教育のための部屋)」の略で、大学における視覚を通じた複眼的な思考と総合的な知識を育成し、ひろく地域の文化の向上に資することを目的としています。

■ 本展についてのお問い合わせ

tel：052-789-4725（名古屋大学教養教育院）

e-mail：clas-info@vision.ss.is.nagoya-u.ac.jp